

○令和5年8月10日に開催された標記協議会において、減災対策の取り組み状況や情報共有等を行いました。主な内容は以下のとおりです。

- ・水害リスク情報の充実に関して、「多段階の浸水想定図」及び「水害リスクマップ」を作成・公表したことを情報提供しました。
- ・令和5年度ワンコイン浸水センサ実証実験の取組について情報提供しました。
- ・各自治体の内水（浸水）被害の現状や各自治体での取り組み、減災対策への期待等について意見交換を行いました。

○今後も市町村、県、国など関係者が一体となって、減災への取り組みを推進していくことを確認しました。

【開催概要】※減災対策協議会と流域治水協議会を合同開催

- ◇日時：令和5年8月10日（木） 11：30～12：00
 - ◇場所：仙台合同庁舎B棟 2階共用第一会議室
 - ◇出席者：協議会各構成員（国、県の機関や管内自治体首長等）
- ### 【議事】
- ◆減災対策協議会規約の改正
 - ◆減災対策関連取り組み説明
 - ◆意見交換

【主な意見内容】

- ・地域の方々が「災害を恨む」「国や県に文句を言う」だけではなく、「自分たちでもやれることはやろう」という考えのもと、シンポジウム等を通して自分たちでできること、地域の中でできることに取り組んでいくという意識の醸成が図られてきたと思っている。（大崎市長）
- ・本市には、豪雨の際に簡単に危険水位を超過してしまう河川がある。引き続き整備促進にご協力いただきたい。（富谷市長）
- ・本町にも、50～60mmの降雨で越水してしまう箇所がある。県や隣接自治体と協議を進め、地域での対策も考えていきたい。（大郷町長）
- ・昨年は、北上川下流河川事務所と合同で排水ポンプ車の支援要請箇所の現地確認等を実施した。今後も連絡体制や情報共有の取り組みを継続して実施したい。（涌谷町長）



協議会の様子



大崎市 伊藤市長



富谷市 若生市長



大郷町 田中町長



涌谷町 遠藤町長

意見交換の様子